

Rotary

District 2510



ガバナー月信



Rotary International District 2510

2025.7.28 発行



勇気を出して行動しよう



この号の内容

1. ガバナーメッセージ「心からの感謝を込めて」
2. 南海ロータリークラブ歓迎例会 深川IRC会長 野野貴広
・第7グループIM(インターシティーミーティング)
・ローターアクト地区大会 千歳市一
3. 2024-25年度 ガバナー補佐 退任挨拶
・お知らせ・News
4. 2024-25年度 ガバナー補佐 退任挨拶
5. 2024-25年度 ガバナー補佐 退任挨拶
- 6-10 2024-25年度 地区委員長 活動報告
- 11-12 第22回RYLAセミナー開会式に参加しました
13. 2024-25 財団年次基金寄付合計 (6/30最終)
- 14 米山 各クラブ寄付金納入明細
- 15 新入会員の皆様を心より歓迎します
・訃報
- 16 ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます
- 17 台北国際大会
- 18 地区内会員数報告
地区大会記録データ
感謝を込めて 御挨拶

ガバナーメッセージ

心からの感謝を込めて



2024-25ガバナー
出村 知佳子
(札幌北RC)

2024-25年度を無事に締めくくることができましたのは、何よりも第2510地区のすべての皆さまのお力添えのおかげです。この一年を通していただいた多くのご支援、ご協力に、心より感謝申し上げます。

地区内の各クラブの皆さま、会員の皆さまが、それぞれの地域、クラブで“ロータリーのマジック”を実現してくださいました。その背景には、社会のより良い変化をもたらしたいという強い想いと、現状を変えるために一歩を踏み出す「勇気ある行動」が確かにありました。地域に根ざした奉仕活動に真摯に取り組む姿、仲間を巻き込む工夫、誰かを思いやる温かな気持ち、その一つひとつが、マジックの源であり、地区を明るく照らしてくれました。

ガバナー補佐の皆さまには、日々クラブに寄り添いながら、各クラブと地区との架け橋としてご尽力いただきました。現場に寄り添ったサポートと、丁寧な対話を通じて、地区のビジョンをしっかりと届けてくださいましたこと、心より感謝申し上げます。地区委員長・地区委員の皆さまにおかれましても、それぞれの専門分野において的確なリードと行動力を発揮してください、未来に向けた確かな一歩を築いていただきました。



そして、常に温かく力強く見守ってくださったパストガバナーの皆さま。折に触れていただいたご助言や励ましの言葉に、何度も背中を押されました。皆さまのおかげで、私は安心してこの大役を全うすることができました。さらに、ローターアクター、インターアクター、RYLA参加者、青少年交換学生、そして財団奨学生の皆さん、若い世代のロータリーファミリーのまっすぐな行動力と柔軟な発想には、私たち大人の方が学ぶことが多くありました。私自身も多くを学び、たくさんの方の気づきと、そして何より「勇気」をいただき、また「北海道医療大学RAC」の誕生を、地区ローターアクターの皆さんに支えていただき本当にありがとうございました。また、羽部大仁地区ラーニングファシリテーターと札幌北RCの地区スタッフの皆さまには、最後まで支えていただき本当にありがとうございました。感謝に堪えません。

多くの皆さまと連携しながら「学び」「つながり」「行動」を重ねてきた一年。第2510地区が育んだ無数のマジックと、そこから生まれた希望の光が、これからのロータリーをさらに輝かせ、次の世代へと受け継がれていくことを心から願っています。

そして最後に、誰よりも私たち年度のガバナーに「勇気」を与えてくださった2024-25年度 ステファニーA.アーチックRI会長に、深く感謝申し上げます。国際協議会の本会議にてスピーチを務めるという大役を仰せつかり、大変な緊張の中で臨みましたが、ステファニーA.アーチックRI会長をはじめ、RI理事関係者の皆さま、そして世界の同期ガバナーの皆さんから「とても良かった」と温かい言葉をかけていただき、一生忘れられない思い出となりました。ステファニーA.アーチックRI会長の力強く、そして温かいリーダーシップと、「The Magic of Rotary」というテーマに込められたメッセージは、世界中のロータリアンの心に深く響き、私たちを突き動かす力となりました。自分一人では決して成しえなかったこの一年間は、私にとっても「マジック」のような時間でした。皆さまから教わった誠実であることの大切さ、謙虚であること、そしてお互いを称えることの尊さを、これからは私自身の中に大切に刻み、共に歩んでまいります。



「心からの感謝を込めて—本当にありがとうございました。」

南海ロータリークラブ歓迎例会

深川RC会長 飛弾野貴広

2025年4月下旬にかけ、韓国3590地区 南海(ナメ)ロータリークラブのメンバー11名を迎え歓迎例会を行いました。南海RCとは地区の勤めもあり、1974年に姉妹結縁締結を交わし早51年間にわたり半世紀以上の行き来を重ね半世紀以上のお付き合いと友情を育てて参りました。コロナでのパンデミックがあったこともあり、しばらく休止していたのですが、昨年度より再開し今年度は迎えさせていただきました。当クラブも会員減少、それに伴った経済状況も年々厳しくなっている現状、通訳も新しく探さなくてはならないこと、問題も多々ございました。しかしながら会員の皆さんと知恵をしばり計画準備、また出村知佳子ガバナーのお力添えを頂き通訳も見つけ、色々な方々のご協力もあり、和やかな中にも友情を深め合う大変有意義な時間を共有できました。関わって頂いた方すべてに感謝の思いで溢れました。現状や先のことを考えると考えるところはございますが、長きにわたる友好関係を変化しながらでも、今後とも未永く続けていき、この友情の輪がロータリーだけにとどまらず世界一つの輪につながることを信じて今後のロータリー活動にも繋げていきたいものです。



第7グループIM(インターシティミーティング)

2025年6月7日、ホテルグランテラス千歳にて開催された2024-2025年度 国際ロータリー第2510地区 第7グループインターシティミーティングに参加いたしました。溪口正裕先生による「いのちの笑顔プロジェクト・あの日を忘れない」のご講演では、命と向き合う深いメッセージが胸に迫り、会場全体が感動に包まれました。涙ぐむ参加者の姿も多く見られ、心を揺さぶられるひとときでした。一転して懇親会では、笑顔と笑いが広がり、和やかで温かな交流の場となりました。四方信次ガバナー補佐をはじめ、ホストの千歳セントラルRCの皆さま、ご準備・ご運営に尽力いただいたすべての皆さまに心より感謝申し上げます。インターシティミーティングは、地域の仲間との絆を深める貴重な機会であり、今後の奉仕活動の力強い礎になると確信いたしました。



ローターアクト地区大会 千歳市

2025年6月29日、千歳にて開催された第2510地区ローターアクト地区大会の懇親会にお招きいただき、「地域活性化」をテーマに講演をさせていただきました。地域の歴史や特性を踏まえながら、持続可能なまちづくりや若者の参画、そしてロータリーの役割についてお話をさせていただきました。講演後には、ローターアクトの皆さんとの温かな交流の時間がありました。その情熱と表現力には深く心を動かされました。懇親会では、プロの音楽家による美しい歌声、有志の皆さんによるエネルギッシュなダンスなど、参加者を楽しませたいという「おもてなしの心」が随所に感じられ、大変感動いたしました。この一年を通じて、ローターアクトの皆さんがさまざまな場面で発揮された創造力と行動力に、私自身も多くの学びと刺激をいただきました。皆さんの存在が、ロータリーの未来を明るく照らしてくれていることを実感しています。このような貴重な機会をいただけたことに、心より感謝申し上げます。


[2024-25年度会長テーマ](#)
[2024-25年度テーマと関連資料](#)
[ロータリーfacebookページ](#)
[2024-25 出村G就任挨拶\(PDF\)](#)
[ハイライトよねやま](#)
[米山記念奨学会](#)

地区資料リソース・月信別冊

[2024-25 地区年次目標・Gメッセージ](#)
[2024-25 RI共同目標](#)
[ロータリーのマジック 資料](#)
[ロータリーの行動計画](#)
[3Years Rolling Target plan 2024-25~](#)
[2024-25 公式訪問](#)
[公式訪問のお願い](#)
[2024-25 地区組織図](#)
[2024-25 地区カレンダー](#)
[2024-25 地区予算案](#)
[2024-25 クラブ会長・幹事名簿](#)
[2024.11.10 地区大会リーフレット](#)
[財団寄付送金明細書](#)
[米山寄付送金明細書](#)
[入会候補者情報の閲覧・管理](#)
[入会候補者情報プログラムについて](#)
[入会候補者情報の管理方法\(PDF\)](#)


2024-25
クラブのための資料集



2510地区公式LINE

2024-25年度 ガバナー補佐 退任挨拶



第1グループ 中出 敏彦 (留萌RC)

ガバナー補佐退任にあたり

1年間を振り返り大変お世話になった、出村知佳子ガバナーをはじめ、地区幹事・委員長・委員会の皆様担当させて頂きました、第1グループの皆様へ御礼申し上げます。私自身の病気のため通常の半分しか行事セミナーに参加できず役割が全うできなかった事が心残りです。

ガバナー補佐の職に最後まで、いられたのは、第1グループの会員の皆様の応援と絶大なご協力を頂いたお陰です。十分なガバナー補佐として役目を果たせなかった事を反省しています、ロータリーの友情に免じてお許しください。

IMのテーマは「健康を保ち奉仕に生きる」としました、旭川医大の堀先生講演をいただきました。ロータリークラブの理念である奉仕の精神を強調し、健康の重要性を訴え自分自身が健康である事が奉仕活動を持続的に行うための基盤である。健康な身体と心があってこそ地域社会国際社会に貢献することが生まれます。

IMも無事終わる事が出来ました。RCのメンバーに感謝の1年でした。



第2グループ 宗方 裕之 (芦別RC)

始めに、1年間大変お世話になりました出村知佳子ガバナーをはじめ地区幹事、地区役員の皆様並びに第2グループの皆様へ御礼申し上げます。和気あいあいの中で活動させていただきましたが、皆様のお役に立てたのかはいささか心許ないところです。

印象に残っているのはやはり4月に開催された「第2グループIM」です。その節には皆様が大変お世話になりました。公共イメージ向上の観点から一般市民対象のイベントを企画し、芦別ふるさと応援大使の常盤貴子さんをお迎えしトークショーを行い、故大林宣彦監督とのご縁による芦別との関わり、能登復興支援活動のお話をさせていただきました。その際に芦別市職員「ワンチーム」と共に倒壊した家屋に残されていた輪島塗漆器をチャリティ販売するイベント「うるし縁」も同時に開催させていただき、多くの来場者の皆様にご協力をいただき大変ありがとうございました。

私事ですが、1年間たくさんの出会いがありとても楽しいロータリーライフを過ごさせていただき心より感謝申し上げます。ありがとうございます。



第3グループ 中田 信広 (栗沢RC)

昨年7月から第3グループのガバナー補佐を曲がりながらも何とか務めさせていただきました。この間、出村知佳子ガバナーをはじめとする地区役員皆様や、第3グループの各クラブの会員の皆様へ大変御世話になったことにお礼申し上げます。中でも、IMに付きましては、今までの第3グループの伝統であった全員登録という不文律を覆して、勝手に参加者のみの参加料で開催させていただきました。それにも関わらず、全てのクラブから大勢の会員の参加を頂き、大変盛り上げていただいたことは、本当にありがたいことでした。そして、今までのIMのあり方とはだいぶ違った企画でしたが、大勢の皆様から高評価を受けることが出来ました。本当にありがたいことでした。

最後に、未熟な私を全面的に支えてくれたばかりでなく、栗沢らしいIMのあり方を追求してくれた、栗沢RCの皆様へ心から感謝して、退任の挨拶とさせていただきます。



第4グループ 伏木 淳 (札幌西RC)

退任ご挨拶

ロータリー歴10年に満たない私が、ガバナー補佐の大役を仰せつかることとなり、どう役目を果たせば良いか？暗中模索が続きましたが、多くの方々に支えていただき、お陰様で大過なく年度を終了することができました。

グループ内7クラブには、年間3~4度ほど例会にお邪魔しましたが、それぞれが、長い歴史を経て醸成されてきたオリジナリティを持たれていることに感銘を受けました。そして、昨今どのクラブも会員減少の課題がありますが、会員間で知恵を出し合いつつ、様々な方法で会員増強に取り組まれていることが分かりました。「3-year targets」は3ヶ年の数値目標を掲げるのですが、肝心なのは、目標に向かって、クラブでどう会員が結束して取り組んで行くか？ということだと思います。

ロータリーも長い歴史を経て、運営の「手法」は、時代とともに変わって来ましたが、その「真髄」は普遍のものと思います。千玄室さんの言葉ですが、「その人の職業が、単なる職業ではなく、天から与えられた職業であり。その使命、リーダーシップをもって仕事をしているか。」「ロータリーというのは、ご飯を食べて、お話しするだけではない。自分を磨く場所。心を磨く。絆を持つ。そしてみんな手を繋ぐ。この素晴らしさをもって日常の仕事をし、人に接し、行動していくのではないか。」とあります。

私も還暦を過ぎましたが、若い世代の人たちに、このロータリーの「真髄」を少しでも味わってほしいと思いますし、「ああロータリーに入って良かったな。そういう仲間の中に居ることが嬉しいな。」といことを感じるようになってほしいと思っています。

最後に、お陰様で、私自身、1年間のガバナー補佐の経験を通じて、様々に研鑽させていただきました。ありがとうございます。今後とも多くのロータリアンの皆様との交流の中で、一步一步前進させていただければ幸いです。



第5グループ 深貝 亨 (札幌南RC)

ガバナー補佐の補佐は居ないのかと思うほどにやりたいことが沢山あったはずなのに、やりたいことを追っかけるより、追っかけられて終わってしまった一年でした。

クラブ訪問、会長・幹事会を通して会員増強策を模索しましたが、絶対の策は見つからずじまいと云わざるをえません。小さなクラブも自信をもって独自の活動をしていることに改めて気づかされました。会員間の強い「きずな」を肌で感じました。一方、この「きずな」が新会員加入の障害になっている側面も感じました。

IMの開催は第4グループの主導で、北国の青少年のスポーツ活動に着目した素晴らしい企画に参画させて頂きました。わずかのお手伝いしか出来ず縮小しております。

第9回日台親善会議では、「友愛の家」のイベントを第4グループと一緒に運営することが出来ました。「ミルクとクッキーの提供」「手打ちそばの実演試食」「ファイターズの法被とユニフォーム提供」いずれも大盛況で行列ができるほど喜んでいただきました。多くの仲間に支えられて、一矢を報いることができました。ロータリアンの寛容と情熱と底力に改めて気付かされました。

ロータリー組織の宝は一人一人の優秀なロータリアンです。クラブ活性化を通じて一人でも多くのロータリアンが誕生するよう精進してまいります。



第6グループ 佐藤 義久 (蘭越RC)

会員8名、小さな町でのIM (インターシティミーティング)

1年間お世話になりました出村知佳子ガバナー、地区幹事・各委員会委員長・委員会の皆さま、第6グループ各クラブ会長・幹事、並びに会員皆さまにお礼を申し上げます。第6グループでは今年度も各クラブの会長・幹事、ガバナー補佐事務局とのグループLINEを作成し、様々な連絡・情報の共有を行いました。

IMは蘭越町で行い、基調講演は「ロータリーのDEI+B (帰属意識) を考える」です。講師に国際ロータリー第2地域RPIC RI2610地区2021-22年度ガバナー DEI委員会カウンセラー 神野正博PG (七尾RC) をお迎えし開催いたしました。小さな町で会場も狭いため、残念ながら人数を100名に制限させていただいての開催でした。多くのロータリアンに聞いていただきたい内容で、ロータリーのDEI+B (帰属意識) の考え方が、私自身漠然から確信に変わった瞬間でもありました。小さな町のためIM会場、懇親会場と2ヶ所に分け、懇親会での飲食提供は町内飲食店の皆さまが得意料理を持ち込むケータリング方式で行い、接客・接待役を8名の会員奥様をお願いいたしました。奥様方も紳士・淑女のロータリアン皆さまに接し、我が夫のロータリー活動を更に理解してくれたものと勝手に思っています (笑)

終わりに、1年間私を支えてくれた7名の蘭越RCメンバーには、感謝しかありません。ありがとうございました！



第7グループ 四方 信次 (千歳セントラルRC)

我がクラブにガバナー補佐が回って来ることは分かっていたのですがまさか僕に声が掛かるとは夢にも思っていなかったのです。任務を追究出来るか不安の状態でしたが、第7グループ各クラブ共に快く迎えて頂きとても有難い気持ちでした。厳粛な雰囲気のあるクラブがあれば、アットホームで和やかなクラブもありとても勉強になりました。7月26日にエスコンフィールドの日本ハム戦を第7グループ一同82名で観戦出来たことは思い出のひとつにもなり私自身にとっての糧になりました。IMに於いてもグループ各クラブの皆さんの絶大なるご理解とご協力があったこと、普段お付き合い頂いている一般の方々に出席頂きたいそんな気持ちです。1年間通して大して役立たずの補佐でしたが、出村ガバナー始め、ガバナー補佐、地区役員、グループの皆さまのおかげで何とかやって来れました。今後はこの経験を糧にロータリー活動を楽しんで行きたいと思っております。本当にありがとうございました。



第8グループ 八木 一洋 (三石RC)

ガバナー補佐退任の挨拶

ガバナー補佐に就任して一年間、出村ガバナーをはじめ地区幹事・地区委員長・地区委員の皆様方のロータリーの活動に尽力されている姿を拝見して尊敬の念を抱かずにはいられません。地区の為に、あるいは各クラブの為に熱意をもって行動する姿は感動的でもありました。

私自身はガバナー補佐として満足な活動が出来ず大変申し訳なく思っていますがそんな中でも一つ上げるとすれば、第8グループ合同のポリオ根絶募金の実施です。浦河RCが中心となり第8グループ各クラブが参加し、浦河町産業祭り会場で行われた募金活動は募金額、啓蒙グッズの配布数とも予想を上回る成果を上げることが出来ました。ご協力いただいた第8グループ各クラブ皆様方に心から感謝申し上げます。

ガバナー補佐としての任期中は様々な貴重な経験をさせていただき、又多くの方々との出会いがあり、お陰様で就任前よりロータリアンとして僅かですが成長することが出来ました。これからはそれを糧にロータリーの活動を続けていこうと思っていますので、今後とも宜しくお願いいたします。

最後に未熟な私を支えてくださった出村ガバナーはじめ地区役員・ガバナー補佐・ガバナー事務所の皆様方そして第8グループ各クラブの会長はじめ会員の皆様方に心から厚く御礼申し上げます。



第9グループ 松永 英樹 (室蘭東RC)

私が最初のガバナー補佐会議の席で感じたことは「なんと自分はロータリーの知識、情報が足りないのだろう」という事でした。そして同時に「クラブの会員はどのくらいRIや地区について知っているのだろう」という疑問が頭のなかによぎりました。そこで私の1年間の指針は「地区とクラブを繋ぐ」とし、RIや地区での出来事、情報をしっかり伝えていこうと思いました。1年が経ってみて、どのくらい「地区とクラブを繋」げたのか、十分ではなかったようで少し反省も残ります。

クラブ訪問では各クラブの例会に接して色々なやり方がある事を勉強させていただきました。IMは「室蘭の未来産業を知る」をテーマに開催し、ロータリアンだけでなく地元の高校生、大学生、ローターアクトなど若い世代の方々と課題を共有できた事が収穫だったと思います。

1年間の活動をとおして、私がクラブに伝えた事よりも私がクラブから教えてもらった事の方が多かったように感じています。出村ガバナーはじめ地区役員の皆様、グループ内クラブの会員皆様、1年間ご指導、ご協力をいただきありがとうございました。



第10グループ 浅野 翼 (函館セントラルRC)

2024-2025年度、第10グループガバナー補佐として務めさせていただきました。当初は大きな緊張と不安を感じながらのスタートでしたが、会員の皆様、そしてグループ各クラブの温かいご支援とご協力のおかげで、無事に任務を全うすることができました。振り返れば、訪問先のクラブでは「緊張の中にも和やかに迎えていただけたことで、自分自身も少しずつ安堵し、学びを深めることができた」瞬間が多く、この1年が「会員として歩んできた20年の中で最も大切に貴重な年であった」と感じております。また、ガバナー補佐として奉仕活動に携わる中で、ロータリー精神の本質を改めて体得することができました。出合いに感謝し、謙虚に人と接する。常に誠実であること。そして人生とは“常に学び合い、向上する姿勢”だという気づきを得ることができました。この貴重な経験は、私にとって生涯忘れることのできない宝物です。今後はクラブ会員として、また地域社会の一員として、ロータリー精神を胸にさらに精進してまいります。

最後になりますが、出村知佳子ガバナーをはじめ、地区役員の皆様、そしてグループ各クラブ会長・幹事、会員の皆様に、心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



第11グループ 國谷 大輔 (函館東RC)

まずは1年間お世話になりました出村知佳子ガバナーをはじめ地区代表幹事、副代表幹事並びに地区役員の皆様にご挨拶申し上げます。有難うございました。また、担当グループである第11グループの会長、幹事をはじめ各クラブのメンバーの皆さまには、クラブ訪問の際にはいつもフレンドリーに受け入れていただきましてありがとうございました。

第11グループは、ガバナー補佐を輪番制で輩出できないという問題を長年抱えておりました。問題を解決すべく、函館五稜郭RC並びに函館東RCの会長・幹事に協力を仰ぎ、昨年9月には会長・幹事会の前に事前協議を行い、会長・幹事会の場においても協議を重ねて参りました。最終的にはクラブ規模に応じた変則的な輪番制で運用するというで一応の決着がつかしました。ガバナー補佐として長年の懸案事項に一応の決着を見ることができたことは、特に印象的な出来事でした。ガバナー補佐の輪番制について立場上取り組まざるを得なかった今年度の第11グループの会長・幹事には心より感謝申し上げます。

また、私をガバナー補佐に推薦してくれた、所属クラブの函館東RCの皆さまにも、おかげさまでガバナー補佐の任に就いたことで充実したロータリーライフを楽しむことができましたこと、感謝申し上げ、退任の挨拶とさせていただきます。



第12グループ 西川 良雄 (苫小牧RC)

ガバナー補佐活動と自分のこれから

活動をスタートするまで、各種のセミナーやラーニングを受けて、意気込みをもって臨みましたが、実際は自分が考えた活動計画の通りに進みませんでした。

各クラブ協議会や出村ガバナー公式訪問を終え、半年位過ぎたころに地区ガバナーの「変化して行動を」や、各クラブの会長方針が理解できました。もちろん会長・幹事会の会合も特に12グループを進めていく上で重要なポイントでした。

反省として、各クラブ協議会でのラーニングがあまりできず、申し訳なく思っています。4クラブの特徴あるところを、更に伸ばしていただけるようお願いをし、又、3年計画で変化が起きる様、次の会長、幹事の皆さんにも理解してもらえよう伝えました。

12グループのIMでは、出村ガバナーにも本当に色々なことを学ばせて頂きました。また、各会長も新しい事に挑戦して頂き、ありがとうございました。

終わってみれば、もっとできることがあったのではないかと反省ばかりですが、1年間、出村ガバナー、地区幹事、委員長、会長の御指導のお陰と、白老RC、苫小牧東RC、苫小牧北RC、苫小牧RCの理事役員、ロータリアンのお陰で、無事終えることが出来ました。心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

2024-25年度 地区委員長 活動報告

地区参加者基盤拡大委員会

小山 司 委員長 (札幌RC・PG)

新型コロナウイルス感染症のパンデミックが長期に及び、ロータリー活動にも甚大な影響が続く中、本地区では200名を超える会員数の減少がありました。2023年5月から新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置づけが「5類」に移行し、個人の選択を尊重し、個人の自主的な取り組みをベースとした対応に変わったことから、クラブ活性化の課題に自主的に取り組み、一人でも多くの新会員を迎えられることに大きな期待が持たれました。しかし、2024-2025年度の期首会員数は前年度の63名の減少という残念な結果となりました。会員基盤の拡大は依然としてロータリーの重要課題と言えます。

今年度は女性や若い世代の基盤拡大を重視して、女性エンパワーメントチーム、リーダーシップ開発チーム、基盤拡大セミナーチームの3小委員会を設け、互いに密な連携を取りながら参加者の基盤拡大を図ってきました。特に女性、若い世代の会員動向を知ることを目的として、全クラブを対象としてアンケート調査を実施し、その解析結果は「若い世代・女性会員増強に関する報告書」と題して皆様にご案内する運びとなりました。各クラブの日々の参加者基盤拡大活動にお役立ていただければ幸いです。

地区女性エンパワーメントチーム

日浅 尚子 委員長 (札幌RC)

2022年-23年度にスタートした会員増強委員会女性エンパワーメント小委員会（発足時から2年間は女性会員増強小委員会、最終年の24-25年度で名称変更）は、初年度4名、2年度めから6名の体制で組織されました。メンバーが各地に散らばっていること、それぞれが仕事とロータリー活動で多忙であることなどから、けっして十分な活動ができたわけではありません。

この3年間の活動は、女性会員増強について各クラブのリーダーと女性会員にアンケートを行いその報告書をまとめたこと、函館地区のIMのほか、メンバーがそれぞれのクラブや他クラブで女性会員増強をテーマに卓話をさせていただいたことです。女性会員が増加傾向にあるのは世界の傾向で、第2510地区でも2022年6月末日現在166人から直近の今年4月30日現在で200人となりました。各クラブで女性に注目し増強に取り組まれた成果だと思います。「女性会員増強」「奉仕活動・クラブ運営の中核に女性を」という意識は確実に定着していると思います。RIが掲げる女性会員比率30%には遠く及びませんが、地区の女性会員比率は8.6%となったことをお伝えし、活動の報告とします。

地区リーダーシップ開発チーム

武部 幸紀 委員長 (札幌RC)

委員長の武部です。1年間お世話になりました。リーダーシップ開発チームは、会員基盤拡大委員会の下部組織として、若い世代の会員をいかに増やしていくかを検討することが目的でした。

そのために当委員会では地区の各クラブに対してアンケートを実施し現状を把握し、その結果をまとめました。アンケート結果につきましては「若い世代・女性会員増強に関する報告書」を策定したので、興味ある方はガバナー事務所にお問い合わせ下さい。

今回の委員会活動の中で、私たちは相当の危機感を感じました。その理由は、地区を含めてロータリークラブが、若い世代にとって「コスト」「タイパ（タイムパフォーマンス）」が悪く、入りたくなるような魅力的な場になっていない点です。若い会員を増やすのであれば、ロータリークラブの本質を見失うことなく、時代に合った活動や運営の改革を検討する必要があるようです。

最後に、今回一緒に活動しました我孫子副委員長（札幌RC）、小仲委員（札幌南RC）、佐々木委員（函館亀田RC）、前川委員（岩見沢ネクスト衛星RC）とは、とても楽しい委員会活動をさせてもらいました。これもロータリーという場で出会えたからこそでもあります。ありがとうございました。

地区会員基盤拡大セミナーチーム

西方 洋昭 委員長 (岩見沢RC)

今年度、新会員研修小委員会の流れを汲み、新たな会員基盤拡大セミナーチームとして立ち上がりました。この委員会は研修を行う事を主とするよりも、研修を通して会員同士のコミュニケーションを図り、ロータリーの楽しさを知ってもらいロータリーを好きになってもらう事。また、ロータリー入会候補者の発掘に繋がることを主眼に置いて活動を行いました。主な活動は新会員同士及び一般未入会者とのコミュニケーションの場づくりとしてグループ内ファイアースイドミーティングを実施いたしました。6月18日、第3グループの新会員が岩見沢の居酒屋に集まり、鍋を囲んで中田ガバナー補佐からの経験談などロータリー談義でコミュニケーションを深めることが出来ました。次年度は新会員研修委員会に名称変更となりますが、新会員研修の場、友情を育む場、ロータリーを好きになり退会防止へと繋がる場となることを期待いたします。最後に出村ガバナーはじめ地区役員の皆様にご挨拶申し上げます。

地区新クラブ・RAC支援チーム

齋藤 聡 委員長 (岩見沢RC)

今年度地区ロータリーアクトでは、地区研修・協議会、地区大会、会長・幹事会(3回)、全国研修大会(大阪)、北海道交流会(札幌)、全国地区代表委員長連絡会議(2回)の主催及び参加し、それぞれの立場で気づき、学びの場であったと思います。自ら主催することで、事業計画の難しさ、準備の大変さ、登録の厳しさ、予算等、何度も何度も修正をし、おもてなしの心や、思いやりの心、様々な社会でも役立つ管理運営を学ぶことができたと思います。この経験が一人ひとりの大きな力になったと思います。また、札幌南RACの創立50周年記念式典、北海道医療大学RAC認証式とうれしい行事も重なりました。第2510地区ではRACが6クラブとなり人数も44名に増えました。これからの活躍に期待したいところです。加えて今年度は、VTTへの参加、ピース・ユースサミットの運営など、普段経験できない体験から、多くのアイディアが浮かび、次年度以降に繋げる活動の一助となったと確信しております。今後とも委員会ではしっかりとサポートしていきたいと考えます。

1年間皆様にご協力ご支援を賜りましたこと心より感謝と御礼申し上げます。

地区RI国際大会推進委員会

石丸 修太郎 委員長 (札幌西RC・PG)

去る2025年6月21日から開催された、国際ロータリー大会には、当地区より32名の登録があり、そのうち25名が21日に開催された2500地区との初めての合同北海道ナイトに参加しました。2500地区からの26名と合わせて51名、それにゲスト参加の高柳ご夫妻、ロータリー奨学生の兼田ご夫妻を合わせて55名でのイベントとなりました。

北海道ナイトの場所は、昨年8月にカルガリーに行き決めたところで、国際大会の場所からも近く、コストも比較的抑えることが出来るホテルでした。

各テーブルは両方の地区の方々交流できるよう席割をしたことで、交流が大いに盛り上がりました。

17:30の開場からウェルカムドリンクが提供され18:00過ぎからバフェで食事が出され、20:00過ぎまで、テーブルごとのスピーチなどで大いに盛り上がりました。

翌日の開会式にはちゃんと出席できるよう遅くならない程度にそれぞれが引き上げて、北海道ナイトは無事終了しました。もちろん、来年の台北での再会を約束しての別れでした。

地区立法案検討委員会

羽部 大仁 委員長 (札幌南RC・PG)

2024-25年度は、3年に一度開催される規定審議会の年でした。私は第2510地区の代表議員として参加し、将来のロータリーの基盤になる貴重な1票を投じてきたつもりです。

毎年1度決議審議会がオンラインで開催され、3年に1度規定審議会が世界中から代表議員496名がインパーソンド、4月13日にオリエンテーションに始まり、審議は14日から17日の昼までシカゴ、ハイアット・リージェンシー・シカゴで開催されました。

今回の総案数は86件でしたが、撤回5件、開催中撤回6件で75件について審議されました。その内16件がRIの提案で、全て採択されました。日本からの提案数は26件（内2件撤回）、24件が審議され採決2件のみでした。否決された提案のうち4件が理事会付託となり、3件が無期延期となりました。

変更される主な採択案には、新しいロータリークラブの加盟に必要な会員数を20名から15名に変更されます。ゾーン構成の決定基準を、ロータリアン数、地理的、言語的、文化的な要素を考慮できる。人頭分担金の値上げの数字を規定審議会で決定する。地区大会を毎年開催しなくても良い。上記を報告します。

地区ロータリーフェローズ委員会

鈴木 抄織 委員長 (札幌大通公園RC)

日頃よりロータリーフェローズに対し、ご理解とご協力をいただいておりますことに心より御礼を申し上げます。

2024-25年度の主な活動では、「学友交流・体験帰国報告会」を一新、「ロータリーフェローズワークショップ～フェローズのマジック～」を開催いたしました。3部構成で、プログラムの枠を超えたフェローズの皆さんに、テーマに沿って自由に意見交換を行っていただく内容で、フェローズ同士、ロータリーの多様なプログラムの理解を深め、興味を持ってくれるきっかけになったようです。既に、RYLA学友がローターアクターになって活動するという事例はありますが、今回のワークショップでは、インターアクト卒業生がローターアクトの活動に興味を示し、積極的に情報交換をしている姿を見ました。今後もこのようなフェローズが交流できる場を提供できれば、相互間の連携、更にはロータリー全体の活性化に繋がるのでは？と、とてもワクワクしております。今回のワークショップを通じてフェローズの交流の場を提供するのが、ロータリーフェローズ委員会の大きな役割であると、確信いたしました。

また、2回目となる「Let's enjoy cooking!」では、餅つき大会を開催し、日本の伝統文化を楽しく美味しく学んでいただき、10か国を超える国際色豊かな会となりました。

最後になりますが、出村ガバナー、行き届かぬ私を支えてくださいましたロータリーフェローズ委員の皆様、関係ロータリアン、学友会の皆様、ガバナー事務所寺島様に多大なご協力をいただき、無事今年度の活動を終了することができましたことに深く感謝申し上げます。

地区ICT委員会

堀元 雅司 委員長 (札幌南RC)

私は、ロータリー情報委員会委員長を2年、ICT委員会委員長を5年間務め、長く情報発信に関わることができ光栄に思っております。地区委員会への参加は貴重な体験であり、他の委員の方々と連携しながら目標に向かうこと、また親睦を深める交流の大切さも実感しました。

ICT委員会では、地区ホームページの活用を推進しましたが、更新システムが、会員の方に難しいのか思うように活用が進まず、今後の課題と感じております。一方で、Facebook「情報交流ひろば」には多くの投稿があり、各クラブの情報もリンクさせて頂いています。国際ロータリーもSNS活用を推奨しており、引き続きの発信が重要です。地区大会ではMy Rotaryの登録アップのために手作りの缶バッジを配布し、登録促進に努めました。今後も、登録率アップのために、方法を考えなければなりません。

次年度は委員長を退任させて頂きICT委員会副委員長でお手伝いさせて頂きます。今後もICT委員会で活動させて頂きますので、引き続きご協力をお願い申し上げます。

地区文献資料室

小里 学 委員長 (札幌南RC)

今年度、文献資料室では、保存資料の電子化を進め、ホームページ上で活用できることを目標に、1952年度から2002年度のガバナー月信の電子化に取り組みました。また、当資料室で保管している他の資料についても調査を行いました。その大半はロータリー文庫にて、すでにWeb上で閲覧可能となっています。文献資料室設立当時の具申書には、資料を収集・保管し、ガバナーおよび地区内各クラブが常時閲覧できるようにしておきたい、という方針が記されています。現在、ロータリー文庫が文献資料の収集およびWeb公開に積極的に取り組んでいることを踏まえ、設立時の意義を改めて見直し、時代に即した方向性を検討していきたいと考えています。次年度も引き続き委員長を務めさせていただきますので、よろしくお願い致します。

ロータリーデーイベント委員会

姫野 芳安 委員長 (札幌北RC)

ロータリーデーイベント委員長として、2024年10月25日に開催されたポリオ根絶イベントを無事に実施することができました。札幌テレビ塔を赤色に染め、ロータリアンやアクトクラブのメンバーを中心に約30名程度が参加し、赤いエンドポリオTシャツを着て、記念撮影を行いました。このイベントは、ポリオ根絶に向けた意識を高めるための一環として、札幌大通公園という人々が集まる場所で開催し、地域社会にポリオ根絶の重要性を広めることができたと感じています。参加者は、テレビ塔での食事を取りながら歓談し、ポリオ根絶に向けた意識を新たにしました。前年と同じ形式でしたが、イベントを通じて新たに参加者の絆を深め、ポリオ根絶への理解と協力を得ることができました。

1年間の委員長としての活動は、たった一回のイベントであったにもかかわらず、多くの意味のある活動ができたと感じています。ポリオ根絶に向けた継続的な取り組みが重要であることを再認識し、地域社会に対してポリオ根絶のメッセージを届けることができたことは、大きな成果だと思っています。

地区RLI委員会

平川 香織 委員長 (札幌手稲RC)

RLI委員会は、RLIセミナーを通じて、クラブの活性化を目指し、委員会メンバーと多くのRLIファシリテーターの皆様と共に今年度も活動してまいりました。前年度同様にRLIセミナーパートⅠ～Ⅲ及び卒業コースの開催、RLI委員会の組織運営の確立と強化、そしてRLIの広報活動の促進に力を入れてまいりました。RLI地区代表委員は前年度の小山司バスターガバナーから福井敬悟バスターガバナーへと引き継がれ、さらなるご指導を賜ることとなりました。今年度「第6期RLIセミナー」は、パートⅠ・Ⅱをオンライン開催、パートⅢのみリアル開催いたしました。リアルでの開催は第1期以来のため、ファシリテーターの皆さんのトレーニングもZOOMによるオンラインとはかなり違い、さらなる研鑽を要することとなりました。また、運営に関しても同様でした。しかし、リアルでの人と人との結びつきや親睦は格段に素晴らしい結果を生むこととなり、受講者の絆が深まり、29名が全課程を修了されました。オンラインで卒業コースを開催し、RLI日本支部地区支援チームよりサブリーダーの山崎淳一PGと永田壮一PGより、新しいロータリーの情報や元気なクラブを創るヒントについてご指導いただきました。

また、運営において、オンライン開催時のテクニカルコーディネーターとしての役割を地区ICT委員会にサポートを要請し、これによって、長きにわたり、安定したオンライン開催が行えるようになることと考えております。

RLIに関して会員の皆様のご理解がまだまだいただけていないことを痛感した年度でもありました。広報活動に関して、次年度はますます力を注いでいくことを強く感じております。

RLIセミナーに参加し、ロータリーの大枠を理解し、参加されている他クラブのロータリアンと接することで情報交換ができ、絆が生まれ、モチベーションをアップすることとなり、それをクラブでの活動に反映させることはクラブの活性化に間違いなく繋がると思います。そのことをご理解いただき、クラブ活性化の一助となるよう努めてまいりたいと思います。一年間、ご協力感謝申し上げます。

地区クラブ支援委員会 松下 早苗 委員長 (栗山RC)

ロータリーの基本理念の1番目である「クラブ奉仕は会員同士の関係をはぐくみ積極的な会員増強計画を実行して活気あるクラブ作りを行うこと」とあります。このことを念頭に2つの方針をたてました。「クラブ活性化のためのクラブに寄り添った活動」「クラブが主体をモットーに！」です。

先ずクラブの未来を見据え会員のモチベーションを上げるため中長期的戦略計画をたてる未来ビジョン委員会等の委員会や会議を持ってもらうようクラブ訪問などの働きかけをしました。次に、広報ハイブリッドカードを全会員に配布しMy Rotary、Japan Portal site、第2510地区ホームページ、ガバナー月信、情報交流ひろば(SNS)を簡単にアクセスし目に触れる機会を増やし活用していただくきっかけ作りをしました。3つめは、各クラブ会長エレクトア対象のアンケートです。関連部門のICT委員会・公共イメージ向上委員会と協力しアンケートの実施、結果を集計しました。このアンケート結果を全クラブをはじめガバナー、ガバナー補佐や各地区委員長に配布しクラブ活性化に役立てる取り組みをしました。

年度中にクラブ支援委員会会議を11回開催し委員会全員で取り組むことができました。そして出村ガバナーのもと、新しい取り組みや方法もあり新鮮で楽しい委員会活動が生まれました。

沢山の方にお手数のご迷惑をおかけしたお詫びとご協力して下さった皆様に感謝申し上げます。

地区ロータリー情報委員会 大坂 直人 委員長 (由仁RC)

「地区ロータリアンの皆様に感謝を申し上げます。」

2020年以降委員会会議にzoomが用いられ委員会から地区内各クラブへの支援活動もリモートで行うことが可能になり、各クラブの役員の方々とダイレクトに繋がり「座談会”語り場”」という形で夫々のクラブの在り様を語り合う機会を創出いたしました。

2025年まで5年間に地区内すべてのクラブに打診、zoomを技術的に利用可能なクラブすべてに参加をいただきました。これらは参加調整を担っていただいた各グループのガバナー補佐の皆様の多大なるご協力により実現いたしました。クラブ役員の方々も慣れないzoomという道具を用い画面を通して自クラブの普段の様子やクラブ運営の工夫などを語っていただきました。皆様のお話を聞く中でクラブの実態だけではなく、要望・苦勞・工夫までも知ることができ、それらは私たちの予想を超えた素晴らしいものでした。

5年間に開催された「座談会”語り場”」にご参加いただいたロータリアンは延べ300人余りです。また、今年度は少人数会員数のクラブにも焦点を当てクラブ運営の創意工夫情報の収集を行いました。

本年度にて当委員会が廃止されるにあたり、これまで当委員会の活動にご協力いただいたすべての地区ロータリアンに感謝を申し上げます。ありがとうございました。

地区公共イメージ向上委員会 小川 有積 委員長 (岩見沢RC)

委員長一年目でわからないことが多く、皆さんにご迷惑をかけてしまったことを先ずはお詫びいたします。

7月のクラブ活性化ワークショップではワークショップIIのファシリテーターを担当させていただき、地区内3グループのガバナー補佐に各グループ内クラブの「地区補助金事業」と「公共イメージ向上」の事例を紹介させていただき、会場からも活発な意見や質問が出て、意義あるワークショップになりました。9月には「ポリオ根絶チャリティーコンサート」、10月には札幌テレビ塔を赤く照らす「ライトアップホリオデー」に委員会メンバーと共に参加し、ポリオ根絶に向けた取り組みを通して地域にアピールすることにより、公共イメージ向上に繋がったと考えます。11月の地区大会ではブースを出展し、地区内クラブの公共イメージ向上のための様々な取り組みを写真などで紹介し、今後の取り組みの参考にしていただきました。4月の地区研修・協議会ではクラブ支援委員会、ICT委員会とともに分科会を担当し、「広報と公共イメージ向上」をテーマにお話ししました。

また、本年度は地区内5クラブの例会で卓話をさせていただけたことにも感謝しております。次年度も引き続きよろしくお願ひ致します。

地区職業奉仕委員会 長田 正文 委員長 (岩見沢東RC)

今年度2回計画していた職業奉仕研修会は1回しか開催できませんでした。それは非常に残念でありましたが、それ以上に5月に開催した研修会で講師をしていただいた横浜港北RCの桑原 薫様の講演が今までにない内容でとても強いショックを受けました。私が学んできた事はいったい何だったんだろう？根本から考え直す必要性を感じてしまいました。その中でヴォケーションナル・サービス（職業奉仕）という言葉がヴォケーションは天職という意味があるがヴォケーションナルになったとたん天職という意味はなくなるという事でした。

私は今までヴォケーションナル・サービスには天職という意味があり、ロータリーの職業奉仕は他に貢献する意味合いが含まれていると思ひ込んでいました。

又、1908年ごろ経営学の事が職業奉仕だという論文が沢山出されていたが、それが全て違ふと話をされました、という事はシェルドンに関する考察が全て違っていたんだという事になり、私としてはカルチャーショックを受けました。今回の研修会でもう一度職業奉仕を勉強し直さなければと感じました。

地区青少年奉仕委員会 西村 英晃 委員長 (恵庭RC)

今年度の活動報告と致しまして、青少年に関わる3委員会の委員長から構成されている当委員会は独自の事業はございませんが、青少年に関わる大きな枠組みの委員会として今年度を振り返り、私を含め4人の委員が3年目を迎え交代の最後の年度となりました。また、その集大成として実りの有った年度になったと思ひます。

インターアクト関係では年次大会や地区協議会、地区大会が通常通り行う事が出来ました。また、昨年度よりインターアクトクラブの設立を検討、準備されているクラブが数クラブ有り翌年度も引き続きそれらクラブへの支援も継続のお願いをしたいと思います。今年度は1クラブがインターアクトクラブ設立の決定を行いました。

RYLAセミナーでは一昨年度当地区初の2泊3日での開催を経て、今年度も盛大に栗山町にて2泊3日のセミナーが行えたことは、現委員長の成果の一つであり嬉しく思ひました。

青少年交換では派遣3名、受入5名（内1名早期帰国）を行いました。次年度派遣候補生が2名、このうち昨年度より派遣先が見つからなかった学生の1名の派遣先が見つかり安心しました。しかし、受入学生が0名ということは残念な事でもありました。

1975年から始まった青少年の交換は2025年で50年の歴史の節目の年度でもありました。2026年夏派遣学生募集も始まっていますので、是非多くのクラブの方に関心を持っていただければ幸いです。

ロータリーとの接点の一つのプログラムで終わる事の無いように、インターアクトクラブ、青少年交換、RYLAセミナーあるいはローターアクトへと段階的なプログラムの良さを委員会間が連携をして伝えられたらと考えます。

日々当委員会のメンバーが卓話や地区内行事を通して青少年に関わる事業の活性に力を注いで頂けたこと、その委員会の方々、提唱されているクラブ、ご協力いただいているロータリアンの皆様のおかげで今年度も多くの青少年の笑顔で終わることが出来ました。

次年度も青少年奉仕へのご理解ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

地区インターアクト委員会 福見 隼人 委員長 (札幌東RC)

今年度で地区インターアクト委員会の委員長としての3年間を終えました。

研修旅行・地区大会並行プログラムへの参加・年次大会等の地区行事を予定通り進めることができました。石丸ガバナー年度より推奨してまいりました青少年奉仕に興味を持っているクラブ、新規インターアクトクラブ設立を検討しているクラブに対しての卓話や提唱支援活動を継続的に行うことができました。その中で恵庭RCが北海道文教大付属高校に対してインターアクトクラブの設立を行うことが決定し、今までの支援活動の成果が出たものと考えます。北海道文教大付属高校の生徒には、今後地区インターアクトクラブとしての行事にも参加していただき、地区内の他高校と交流等を通してお互いに成長して頂けたらと思います。

青少年奉仕委員会をはじめ、地区インターアクト委員会へ様々なご協力をいただきました委員会、会員に深く感謝申し上げます。3年間お世話になりました。次年度も引き続き地区インターアクト委員会をよろしくお願ひ申し上げます。

地区社会奉仕委員会 佐々木 雅之 委員長 (札幌南RC)

今年度、社会奉仕委員会は、目玉事業として計画をしておりました胆振東部地震の若手経営者との語らいでございましたが、経営者のみならず多方面に渡り告知したため調整に大変とまどり、断念せざるを得ませんでした。皆様には大変ご迷惑をお掛け致し、大変申し訳ございませんでした。

ただ、2018年9月に発生いたしました時に災害支援と致しまして国内外の皆様から多くの支援金を頂き又、応援も頂きました。社会奉仕委員会いたしましても今後も継続的に支援を行っていく予定でございます。

次年度は、これまでの支援活動を取りまとめ致しまして皆様に活動報告書という形でこれまでのご報告を致したいと思います。

そして奉仕する側と奉仕される側の一体感を感じられますよう奉仕の原点を見つけられればと考えております。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

地区VTT・新世代交換委員会 高張 秀人 委員長 (札幌手稲RC)

2024-25年度、VTT・新世代交換委員会では「平和と理解を育む国際交流」をテーマに、若い世代の視野を広げ、異文化への理解を深める活動に取り組みました。6月に札幌で開催したユースサミットには、当地区のローターアクトのみならず、他地区や海外（アメリカ、タイなど）からの参加もあり、大きな広がりを見せました。イラン出身のサヘル・ローズさんによる特別講演では、平和とは何かを考える深い学びの場となり、多くの参加者が涙を流しながら耳を傾けていました。また、北海道医療大学の三国久美学長による医療と教育の観点からの講演も、科学的視点に基づいた非常に示唆に富む内容でした。

若者の成長と国際理解を後押しできたことは委員会としての大きな成果です。ご支援いただいた皆さまに心より感謝申し上げます。

地区RYLA委員会 斉藤 朋博 委員長 (札幌南RC)

第22回RYLAセミナーを5/16から5/18に栗山町でコココーラ財団が運営する雨煙別学校で開催致しました。セミナーのテーマを「家族の温もりとリーダーシップ」としてプログラムを構成致しました。

12名の参加者は米山奨学生2名、ネパール人就業者3名と国際色豊かな事に加え、RYLA学友が2名おりセミナーを盛り上げてくれました。

1日目はウェルカムパーティとして、親睦を深める時間と致しました。2日目は講演2本とレクリエーション、グループワークで構成しております。

講演①では札幌南RCの会員でもある神代晃嗣氏に、平岸マルシェや豊平川川見という文化作り、地域の魅力向上を目指した取組、会社経営についてお話を頂きました。講演②では、私の生い立ち、トラウマや家族の話からリーダーシップの多様性について触れて、私の様な一見リーダーには向いていない人間でも、こうしてリーダーシップを発揮できる機会がある事をお伝えしました。思索の時間、カウンスルファイアではそれぞれの内面と向き合い、最後のフォーラムへと向かっていきます。

フォーラムテーマは「サザエさんのリーダーシップについて」として、磯野家のリーダーは誰か？それぞれの特徴をあげながらまとめて頂きました。サザエさんを知らない世代、国という障壁はありましたが、知っている人が教えたりする中でリーダーシップの形を感じられる時間となったことと思われまます。

RYLAに関わった青少年の心に灯ったリーダーシップの気づきを、これからの人生で役立てていただける事を祈ります。

地区国際奉仕委員会/地区ロータリーカード推進委員会 大川 武志 委員長 (恵庭RC)

日頃から国際奉仕委員会とロータリーカードへのご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。各クラブの皆様のお陰で2024-25年度も無事に終える事ができました。

国際奉仕委員会では、32クラブから合計で1,750,000円の支援金をお預かりさせていただきタイ王国の国際ロータリー第3340地区とのグローバル補助金のフォローアップ事業とパイロット事業を実施させていただきました。ただ、実際にはメコン川の洪水の影響もあり2024-25年度支援金でのリサイクルボックスと手洗いスタンドの設置についてはすべてが完了しておりません。この部分については心残りではございますが、2025-26年度には検証していきたいと考えております。

2024年12月1からの2023-24年度の支援金による検証ツアーでは、ロータリアン13名とローターアクター2名の参加をいただきました。地元でのローターアクターとの交流や小学生達の交流もできてとても有意義な時間を過ごす事ができました。

また、ミャンマーの地震においては26クラブから合計で1,000,000円の義捐金をお預かりし、2025年5月20日にタイ王国の国際ロータリー第3350地区に outgoing ガバナーと一緒に届けて参りました。この義捐金についても、各クラブの皆様のご協力本当にありがとうございました。

ロータリーカード推進チームでは、地区カードやクラブカードを推進してきました。2024-25年度につきましては、ガバナーと財務委員長のご協力のお陰で地区大会と日台親善会議の費用をロータリーカードで決済いただきました。お陰で過去最高のロータリーカード利用額となりました。また、クラブカードも少しずつ浸透してきており、今後も期待したいと思います。

ロータリーカード推進チームの委員長としましては、最終年度となりました。皆様のご協力本当にありがとうございました。引き続きロータリーカードをよろしくお願ひいたします。

Thank You

地区財団奨学金・平和フェロー委員会 瀧澤 隆之介 委員長 (札幌北RC)

今年度、地区財団奨学金・平和フェロー委員会委員長を務めました瀧澤隆之介です。

委員長としては、1年度目であり、不慣れな中、拙い委員会運営ではありましたが、なんとか2025-2026年度のロータリー財団奨学生として、グローバル補助金奨学生2名、地区補助金奨学生1名の合計3名の奨学生を選出することができました。

グローバル補助金奨学生2名については、いずれも医師資格を持つ奨学生であり、1名は疫学や統計学のアプローチから産婦人科に関する医療政策を、1名は周産期における胎児の脳発達に関する治療薬や臨床応用を、それぞれ志しています。地区補助金奨学生については、火山性ガスに含まれる硫黄の同位体比に関する研究を行うことで、激甚性災害の予測に繋げることを志しております。

いずれの奨学生もユニークかつ有為な人材であり、こうした人材を支援することを通じて、世界をよくする手助けを行うことができ、また、奨学生にはロータリーに対する理解を深めてもらうことができました。

地区財団補助金委員会 天内 和幸 委員長 (札幌モーニングRC)

日頃から地区補助金事業にご理解ご協力を賜り感謝申し上げます。

今年度は48申請(内訳:RC42/RAC1/委員会5)があり、12,000,000円を超える地区補助金事業が各クラブ、委員会にて実施されました。

次年度についても、昨年を上回る申請数をいただいております。当地区において地区補助金を活用した活動が積極的に行われていることを、当委員会としても大変嬉しく思います。

今年度は委員長を拝命して一年目でした。より良い委員会運営を目指し改善を試みながらも、不慣れな点や至らぬ点がありご迷惑をおかけした点があったこと、この場を借りてお詫び申し上げます。そうした中で、無事今年度の委員会運営を終えることができたのも、ひとえに各クラブのご協力やガバナー事務所のサポートがあったからです。深く感謝申し上げます。

次年度、委員長として2年目を迎えますが、昨年の経験を活かし、当地区における地区補助金を活かした活動が積極的に取り行われるよう尽力してまいります。

改めまして、今年度の委員会運営への多くのご協力誠にありがとうございました。

地区年次基金推進チーム 江本 勝典 委員長 (岩見沢RC)

2014年の岩見沢RCへの入会と同時に、第2510地区の委員会に所属し、それから10年が経過しました。国際大会への参加も入会直後のブラジルサンパウロからスタートし、全世界的規模で起きたコロナ禍による国際大会中止期間を除いては、100%出席を目指して参加してまいりました。

地区委員会の活動はVTT委員会(国際奉仕・VTT委員会含む)に委員メンバーとして参加し、国際大会についてもVTT委員会のメンバーと行動を共にしました。

この度、地区委員会での委員会編制及び活動内容が変わると同時に、年次基金推進チームでは新たなテイクアクションツアーという事業の窓口が担当となり、当該ツアーの開催も複数委員会の合同開催という形になりました。とはいえ語学力もなく、訪問先の土地勘は全くないため、全てが従来の検証ツアー運営の方々に委ね、自分自身は事業に参加する以外は何もなかったのですが、訪問先との長年に渡る交流の軌跡を改めて感動と共に、貴重な経験をさせて戴きました。

第2510地区では財団に関与する委員会で10年以上取り組んできた割には、まだまだ理解が少なく、相変わらず勉強の日々であります。財団への理解と協力を求めるために、地区内を東奔西走されていた出村知佳子ガバナーの姿に感銘し、次年度以降も地区では財団関係の委員会に手を上げさせて戴こうと思っております。

地区ロータリー財団委員会 松原 重俊 委員長 (砂川RC)

「すべてのロータリアンに感謝を込めて！」

日頃からロータリー財団に対し、ご理解とご協力を頂いておりますことにお礼と感謝を申し上げます。今年度も地区補助金管理セミナー、PETS財団セミナーなどの主な事業とともに、ポリオ根絶チャリティーコンサートなど、財団関連委員会の皆様とともに開催してきました。また、地区補助金・グローバル補助金などの認証作業など、とても責任のある役職であり、その役職も3年目を迎え何とか終える事ができました。これもひとえにサポート頂いた財団委員会および関係各位のサポートのおかげであり、心からお礼を申し上げます。

今年度の寄付状況ですが、円高傾向もあり例年に比べ少ない状況で推移しております。財団委員会としての活動目標の一つに、「ゼロクラブ0」の達成があります。これは当地区だけでなく、第1・2・3地域共通の目標でもあり、各クラブの皆様のご協力により無事達成することができそうです。心からお礼を申し上げます。これは、会員からの寄付だけでなく、クラブとしての地区補助金の活用とともに、財団関連委員会の素晴らしい活動を通して、ロータリー財団への理解を深めていただいた結果であると思っております。心から感謝申し上げます。

ロータリー財団100年の歴史の中で積み重ねてきた全ての取り組みは、皆様からの温かいご支援によるものです。どうぞ今後ともロータリー財団に対し、皆様のご理解とご支援をどうぞよろしくお願いいたします。ありがとうございました。

地区大口寄付・PHS推進委員会 黒川 篤 委員長 (札幌北RC)

2024-25年度の活動について

今期から新設された委員会で、大口寄付およびPHSの推進に特化した活動となりました。その役割は大口寄付の内容とその認証、AKS(アーチ・クラフ・ソサエティ)やメジャードナーに関する認証の規定などを知っていただきご協力をお願いすること、PHS(ポール・ハリス・ソサエティ)のご紹介とご入会をお願いです。

具体的な活動としては財団セミナーでの大口寄付・PHSの内容に関する紹介を中心に、様々な機会でご案内をさせていただき、また、PHS認証式を行わせていただきました。

おかげさまで本年度は、出村知佳子ガバナーがAKSに入会され、メジャードナーのレベル1が新たに2名認証、PHSの新規加入者が3名の実績となりました。

皆様の積極的なご協力により実績をご紹介できたことを心から感謝申し上げます。

地区ポリオプラス委員会 志田 勇人 委員長 (札幌南RC)

今年度も無事に終えることができましたのは地区ポリオプラス委員の皆様、私が所属する札幌南RCの皆様、そして第2510地区の皆様の温かいご支援とご協力のおかげです。心より感謝申し上げます。

この一年を振り返りますとフェスタつきさぶでの募金活動、PHS認証式でのチャリティーコンサート、ポリオデーに合わせたテレビ塔のライトアップ、チャリティーゴルフ大会、地区大会、さらには日台親善会議など数多くの貴重な取り組みが思い出されます。

次年度は常在国2か国における感染者数のさらなる根絶を目指し、募金活動の強化とともにポリオデーに合わせた新たなイベントにも取り組みたいと思います。またポリオプラス・ソサイエティ(PPS)登録者数を現在の13名から25名(各グループ1名増とし)へと増やすことも目標のひとつです。さらに、ロータリーカード推進委員会としての活動としてより多角的に支援を広げていきたいと考えております。

本年度、皆様のご厚意により合計77万6,142円のご寄付をいただきました。この大きな一歩を次年度のさらなる成果へとつなげてまいります。引き続きのご支援を何卒よろしくお願い申し上げます。

地区米山記念奨学・学友委員会

入井 浩樹 委員長 (滝川RC)

「三年間を省みて」

このたび、ロータリー米山記念奨学会委員長を任期満了により退任いたしました。ロータリーの不文律ともいえる「三年の任期」を一区切りとして、次にバトンを渡す時が参りました。

在任中は、米山記念奨学事業の意義や活動内容について、少しでも多くの会員の皆さまにご理解いただけるよう努めてまいりました。この事業の推進は、私一人の力では到底成し得なかったことです。会員皆さまの温かいご支援と、委員会メンバーの献身的なご尽力のおかげで、数々の活動を実現することができました。心より感謝申し上げます。

米山記念奨学事業は、異文化理解と人材育成を通じて、国際平和への懸け橋となる素晴らしい事業です。今後も変わらぬご理解とご支援をお願い申し上げるとともに、次期三浦委員長へのお力添えを、何卒よろしく願いたします。

第22回RYLAセミナー開会式に参加しました

5月16日雨煙別小学校での本セミナーは、齊藤朋博委員長が3年間にわたり築き上げてこられた取り組みの集大成、日本・ネパール・中国・台湾の4カ国から12名も参加しました。それぞれが未来を見据え、真剣な眼差しで研修に臨む姿が印象的でした。最終フォーラムでは、参加者一人ひとりが心を込めた発表を行い、その内容の素晴らしさに大きな感動を覚えた、との声も参加者から寄せられました。また、セミナーの締めくくりとして、国際ロータリー第2680地区パストガバナー・安行英文先生による特別講演がオンラインで行われました。参加者にとって学び深い貴重なセミナーの開催、齊藤委員長をはじめ関係者の皆様に心より感謝申し上げます。誠にありがとうございました。



●お知らせ・News●

【第2グループ IM 芦別】

4月26日 芦別市民会館にて、第2グループのインターシティミーティングが開催されました。芦別応援大使である女優・常盤貴子さんのトークショーも行われ、参加者が感動と共感に包まれるひとときとなりました。宗方裕之ガバナー補佐をはじめ、ホストクラブの芦別RCの皆様には、心のこもったご準備とご対応をいただき、深く感謝申し上げます。地域とロータリーの絆を感じる、素晴らしい大会となりました。



【環境保全グローバル補助金プロジェクト本格始動】

第2510地区(日本)と第3340地区(タイ)による環境保全グローバル補助金プロジェクトがノンカイ県で始まりました。メコン河を守るため、分別・リサイクルの導入や環境教育を実施。教育内容は日・タイ両国のローターアクターら若い世代が構築していきます。本事業はロータリー財団へのご寄付により実現しました。ご支援に心より感謝申し上げます。



【第6グループ 蘭越 IM】

2025年5月10日、第6グループのインターシティミーティングが蘭越町にて開催されました。第2地域RPIC（ロータリー公共イメージコーディネーター）である神野正博氏を講師にお迎えし、「ロータリーのDEI+Bを考える」と題してご講演をいただきました。多様性、公平さ、インクルージョン、帰属意識について深く学ぶ貴重な機会となり、参加者の関心と意欲を高める内容となりました。また、懇親のひとときも大いに盛り上がり、地域間の絆を深める有意義な一日となりました。



【第1グループ 留萌 IM】

2025年6月1日、留萌商工会議所にて、第2510地区第1グループのインターシティミーティングが開催されました。「健康」をテーマに掲げ、地域の元気と未来を見つめる貴重なひとときとなりました。参加者同士の学びと交流も深まり、大変有意義な会となりました。中出敏彦ガバナー補佐をはじめ、ホストクラブである留萌RCの皆様には、心のこもったご準備とご対応に深く感謝申し上げます。



【札幌手稲ロータリークラブ創立55周年】

6月28日、札幌手稲RC創立55周年記念式典に出席いたしました。長きにわたるクラブのご活動とご貢献に、心より敬意を表します。式典では、心温まるロータリーマジックのひとときを共有させていただき、深い感動を覚えました。また、ロータリー財団および米山記念奨学会への多大なるご寄付に対し、深甚なる感謝を申し上げます。



【カルガリー国際大会に参加】

2025年6月21、22日、カナダ・カルガリーにて開催された国際ロータリー大会に参加いたしました。6月21日の夜には「北海道ナイト」が開催され、石丸修太郎パストガバナーが周到に準備してくださり、第2500地区・第2510地区合同によるAll Hokkaido Night」も賑やかに行われました。翌22日には、開会式午前・午後のフラッグセレモニーも無事に終了いたしました。ステファニーA.アーチックRI会長がカルガリーハットを被った天使のような装いで登場される姿を間近に拝見できたことも感動的で、世界中の仲間とともに大舞台上で旗を掲げるといふ、忘れがたい貴重な経験となりました。温かいご声援をいただいた皆様に、心より御礼申し上げます。あわせて、2026年台北国際大会推進チーム・コーディネーターを拝命いたしました。皆様とご一緒に台北国際大会に参加し、国際ロータリーの魅力をとともに体感できることを楽しみにしております。



【青少年交換 2024-2025年度 受入学生送別会/2025-2026年度 派遣学生壮行会】

2025年7月5日、2024-2025年度の受入学生の送別会および、2025-2026年度派遣学生の壮行会に参加させていただきました。本年度の受入学生として来日したタイとアメリカからの2名とは、多くの思い出を共有し、別れが名残惜しく感じられるほど心温まる交流がありました。日本での経験を胸に、これからの歩みの中でさらに成長されることを願っております。また、来年度の派遣学生として、タイとオーストラリアへと旅立つ2名には、多くの体験を通じて大きく成長し、世界の広さと温かさを肌で感じてきてほしいと心から応援しています。



【インターアクト年次大会 開会式参加】

2025年6月28日今年度のインターアクト年次大会は「生き抜く力 防災力を高めよう」をテーマに、北海道岩見沢緑陵高校をホスト校として開催されました。若い世代が防災について真剣に学び、語り合い、未来を見据える貴重な二日間の開催となりました。この意義深い大会の準備・運営にご尽力いただいた岩見沢RC、岩見沢ネクストロータリー衛星クラブ、地区内インターアクトクラブの皆様、そして福見 隼人委員長をはじめ、地区インターアクト委員の皆様心より感謝申し上げます。



【2025-2026年度 第1地域 ロータリー財団地域コーディネーター補佐 (ARRFC) および 2026年 国際ロータリー台北国際大会 推進チームメンバー (Zone 1A, 2, 3)を拝命いたしました。】

ご相談や卓話のご依頼などがございましたら、どうぞお気軽にお声がけくださいませ。今後とも変わらぬご指導・ご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

出村 知佳子

2024-25 財団年次基金寄付合計 (6/30最終)

クラブ名	会員数	一人当たり寄付	年次基金合計	ポリオプラス	総合計
赤平	18	116.11	2090	0	2090
芦別	26	205.78	5350.25	343.98	5694.23
美唄	19	102.63	1950	11.27	1961.27
千歳	74	94.71	7008.76	2797.16	9805.92
千歳セントラル	41	110.55	4532.47	38.34	4570.81
伊達	54	98.15	5300	1000	6300
江別	33	98.7	3257.23	1090	4347.23
江別西	31	28.47	882.61	280	1162.61
恵庭	43	124.74	5363.97	514.74	5987.39
えりも	16	21.1	337.53	0	337.53
江差	10	30	300	42	342
深川	30	72.18	2165.28	0	2165.28
羽幌	33	104.55	3450	0	3450
函館	68	109.47	7443.94	3266.9	10745.56
函館セントラル	24	327.92	7870	729	8599
函館東	35	198.72	6955.24	134	7089.24
函館五稜郭	49	251.05	12301.36	643.95	12945.31
函館亀田	31	219.92	6817.63	138.99	6956.62
北斗	12	122.97	1475.65	190.63	1666.28
岩見沢	92	260.37	23954.36	2106	36060.36
岩見沢東	11	65.83	724.1	188.32	912.42
岩内	27	80.01	2160.33	0	2160.33
北広島	17	59.64	1013.89	208.33	1222.22
栗沢	13	1.07	13.89	1130.05	1143.94
栗山	24	48.61	1166.67	0	1166.67
倶知安	30	77.46	2323.94	885.17	3209.11
三石	9	229.44	2064.94	301.35	2366.29
森	33	57.83	1908.45	134	2042.45
室蘭	27	101.22	2732.93	173.24	2906.17
室蘭東	29	112.74	3269.48	352.27	3621.75
室蘭北	45	50.72	2282.47	1500	3782.47
長沼	15	41.3	619.48	661.82	1281.3
七飯	15	79.77	1196.51	59	1255.51
登別	25	70.11	1752.81	253.52	2006.33
長万部	9	70	630	307	937
小樽	72	128.31	9238.49	1292.63	10531.12
小樽南	53	54.37	2881.35	532.8	3414.15
小樽銭函	14	31.43	440	133.33	573.33
蘭越	9	288.92	2600.3	477.45	3077.75
留萌	24	162.49	3899.86	0	3899.86
様似	9	3.61	32.47	6.49	38.96
札幌	110	207.62	22838.1	3000	25838.1
札幌東	98	76.03	7451.13	2000	9451.13
札幌はまなす	17	133.17	2263.89	800	3213.89
札幌清田	10	1013	1012.99	133.8	1146.79
札幌ライラック	11	5.92	65.15	0	65.15
札幌モーニング	37	152.15	5629.37	1385.43	7014.8
札幌大通公園	13	48.46	630	91.52	721.52
札幌西北	37	147.36	5452.17	381.49	5833.66
札幌西	44	67.8	2983.15	6.49	2989.64
札幌幌南	59	180.74	10663.64	933.24	11596.88
札幌真駒内	21	144.52	3035	79.38	3114.38
札幌北	33	736.92	24318.5	3076.67	52644.68
札幌南	77	202.59	15599.5	0	15599.5
札幌手稲	30	262.36	7870.67	1374.37	9849.32
新札幌	20	126.59	2531.8	354.77	2886.57
白老	26	209.62	5450	876.39	6326.39
静内	56	72.91	4082.87	309.31	4392.18
砂川	37	134.66	4982.47	537.49	5579.96
滝川	78	143.96	11229	785	12014
当別	24	43.77	1050.42	488.23	1538.65
苫小牧	55	152.75	8401.39	114.93	8516.32
苫小牧東	30	147.3	4419.07	1203.33	5622.4
苫小牧北	26	64.14	1667.6	161.46	1829.06
洞爺湖	10	6.67	66.67	219.35	286.02
浦河	20	18.26	365.1	737.58	1102.68
余市	38	57	2165.85	0	2165.85
由仁	6	2.32	13.89	0	13.89

財団委員会開催報告 (6/17)
「地区補助金について」

地区財団補助金委員長 天内和幸

2025年6月17日、財団補助金委員会を開催し、締切日までに39クラブ、5委員会、1ローターアクトクラブより、総額81,855米ドルの2025-26年度地区補助金の申請があったことをご報告申し上げます。

ロータリー財団の活動に対する皆様の深いご理解とご協力に、心より感謝申し上げます。

当日は、各申請の内容・目的・予算の妥当性などを総合的に審査し、いずれも地区補助金の趣旨に適合する適正な内容であると判断し、原則すべての案件を承認の方向とすることを確認いたしました。

承認額については、2022～2023年度の年次基金寄付額に基づく地区の配分指針に従い、適切に調整を行います。

また、一部クラブおよび委員会からの2024-25年度活動報告書の提出が未了であることも確認されました。該当クラブ・委員会の皆様には、引き続きご提出をお願い申し上げますとともに、関係者の皆様からもお声がけくださいますようご協力をお願い申し上げます。

必要書類がすべて整い次第、ロータリー財団本部 (TRF) への正式申請手続きを進めてまいります。

また、地区補助金審査委員会は2025年7月4日 (金) に開催することを決定し、その審査を経て、各クラブへの補助金振込は2025年8月中の実施を目標としております。今後も、迅速な送金に努めてまいります。

引き続き、ロータリー財団へのご理解・ご支援・ご寄付を賜りますよう、何卒よろしくごお願い申し上げます。

<第2510地区 認証 登録数 (2025年6月30日時点)>

- ・アーチ・クラフ・ソサイエティ 3
- ・メジャードナー 87
- ・ポール・ハリス・フェロー (PHF) 5,082
- ・ベネファクター 212
- ・遺贈協会メンバー (Bequest Society) 1
- ・ポール・ハリス・ソサイエティ 81
- ・自動寄付登録者 18

<恒久基金 Endowment Fund>

- ・累計資産評価額：\$680,555
- ・財団認定ポイント：101,444.41
- ・冠名基金数：11

D2510 □ ロータリー財団寄付現況

対象期間：2021年～2025年 (各年7月～翌年6月) □ (2025年6月30日付)

年次基金・ポリオプラス基金・その他基金の寄付状況						
年度	会員数	年次基金 寄付額 (目標比)	ポリオプラス 寄付額 (目標比)	その他基金	合計寄付額	一人当たり 寄付額 (USD)
2024-25 年	2,272	\$307,998	\$43,240	\$35,990	\$387,445	\$135.56
2023-24 年	2,355	\$316,510	\$40,298	\$40,543	\$403,877	\$134.40
2022-23 年	2,336	\$327,469	\$42,502	\$39,229	\$410,458	\$140.18
2021-22 年	2,404	\$387,007	\$39,343	\$38,091	\$464,441	\$160.98



第2510地区：米山 各クラブ寄付金納入明細

一人当たり寄付額順位
第2510地区 26位

クラブ名	受付状況	今年度普通	今年度普通寄付	今年度特別寄付	今年度合計	会員数(1月1日)	個人寄付平均	普通寄付会	特別寄付会	合計
深川	(年)	3,000	88,500	230,000	318,500	30	10,616	6,884,400	18,285,000	25,169,400
羽陵	(年)	3,000	93,000	150,000	243,000	29	8,379	4,328,500	4,826,284	9,154,784
留萌	(年)	4,000	96,000	81,000	177,000	21	7,377	9,346,500	13,336,764	22,683,264
赤平	(年)	4,000	76,000	0	76,000	19	4,000	5,391,300	3,236,700	8,628,000
芦別	(年)	2,000	54,000	0	54,000	28	1,928	6,374,300	1,540,000	7,914,300
砂川	(年)	4,000	160,000	452,000	612,000	41	14,926	7,232,000	19,388,000	26,620,000
瀬川	(年)	4,000	322,000	1,090,000	1,412,000	17	17,873	15,978,850	40,179,870	56,158,720
美瑛	(年)	4,000	76,000	110,000	186,000	19	9,789	5,212,500	13,260,000	18,472,500
江別	(年)	4,000	132,000	60,000	192,000	39	5,818	8,336,350	10,677,587	19,013,937
江別西	(年)	2,100	70,400	0	70,400	31	2,070	3,621,400	3,120,000	6,741,400
岩見沢	(年)	1,000	96,000	2,126,000	2,222,000	95	23,389	8,342,850	47,342,300	55,685,150
岩見沢東	(年)	4,000	40,000	0	40,000	11	3,635	3,493,000	3,094,200	6,527,200
東川	(年)	3,000	43,500	60,000	103,500	15	6,900	4,133,150	7,710,600	11,843,750
栗山	(年)	3,000	69,000	0	69,000	23	3,000	4,792,000	911,500	5,703,500
当別	(年)	3,000	75,000	0	75,000	26	2,884	4,325,000	723,000	5,048,000
札幌	(年)	4,000	474,000	1,475,000	1,949,000	127	15,346	21,947,300	45,574,200	67,521,500
札幌はまなす	(年)	5,000	85,000	102,000	187,000	18	10,388	2,780,100	8,284,200	11,064,300
札幌北	(年)	5,000	182,500	500,000	682,500	35	19,500	10,968,250	34,701,052	45,669,302
札幌モーニング	(年)	4,000	144,000	478,500	622,500	35	17,785	6,566,000	22,487,760	29,053,760
札幌西	(年)	4,000	174,000	310,000	484,000	41	11,255	14,274,200	31,717,949	45,992,149
札幌西北	(年)	5,000	135,000	300,200	435,200	31	12,800	6,544,250	20,473,815	27,018,065
札幌手稲	(年)	4,000	128,000	1,196,000	1,324,000	33	40,121	9,129,750	34,829,120	43,958,870
札幌東	(年)	4,000	398,000	1,059,000	1,457,000	104	14,425	18,619,400	64,885,000	83,504,400
札幌清田	(年)	4,000	40,000	100,000	140,000	10	14,000	2,034,000	5,403,000	7,437,000
札幌南	(年)	4,000	238,000	624,500	862,500	64	14,139	12,854,450	26,229,800	39,094,250
札幌ライラック	(年)	1,000	10,000	0	10,000	11	909	99,000	0	99,000
札幌真駒内	(年)	4,000	82,000	100,000	182,000	20	9,100	6,534,500	25,570,404	32,104,904
札幌南	(年)	4,000	310,000	1,410,000	1,720,000	77	22,597	19,118,450	54,675,200	73,793,650
札幌大連公園	(年)	4,000	52,000	0	52,000	13	4,000	1,038,400	319,000	1,357,400
新札幌	(年)	4,000	80,000	240,000	320,000	19	16,842	4,360,000	20,337,821	24,697,821
砂川	(年)	3,000	87,000	0	87,000	29	3,000	4,667,400	2,781,000	7,448,400
保加安	(年)	6,000	198,000	0	198,000	39	6,000	5,317,100	1,100,000	6,417,100
小樽	(年)	5,000	371,000	551,000	922,000	75	12,333	13,267,450	17,427,581	30,695,031
小樽南	(年)	4,000	208,000	420,000	628,000	51	12,313	10,463,500	19,761,704	30,225,204
小樽緑南	(年)	4,000	44,000	0	44,000	11	4,000	2,751,000	237,337	2,988,337
緑谷	(年)	5,000	85,000	0	85,000	8	10,625	2,730,800	91,227	2,822,027
余市	(年)	4,000	154,000	170,000	324,000	38	8,526	6,151,700	6,464,000	12,615,700
千歳	(年)	4,000	298,000	175,500	473,500	75	6,313	9,982,700	9,525,474	19,508,174
千歳セントラル	(年)	2,000	82,000	90,000	172,000	6	3,822	2,668,000	3,816,114	6,484,114
恵庭	(年)	3,000	134,000	1,240,000	1,374,000	6	30,977	6,256,000	6,978,510	13,234,510
北広島	(年)	2,000	36,000	0	36,000	18	2,000	1,720,000	780,000	2,500,000
長沼	(年)	4,000	60,000	60,000	120,000	15	8,000	2,714,000	5,350,000	8,064,000
由仁	(年)	1,000	5,000	0	5,000	5	1,000	1,172,200	1,826,000	2,998,200
スリモ	(年)	3,000	48,000	0	48,000	16	3,000	3,247,700	524,000	3,771,700
三石	(年)	4,000	40,000	0	40,000	10	4,000	2,729,750	1,688,000	4,417,750
樺北	(年)	1,000	4,000	0	4,000	7	571	3,355,600	318,239	3,673,839
津内	(年)	2,000	112,000	200,000	312,000	36	5,571	6,107,200	10,860,700	16,967,900
滝川	(年)	2,000	40,000	0	40,000	21	1,904	4,907,500	6,199,761	11,107,261
伊達	(年)	3,000	159,000	100,000	259,000	52	4,980	8,376,800	10,484,718	18,861,518
高橋	(年)	4,000	108,000	100,000	208,000	27	7,703	10,553,800	8,885,688	19,439,488
高橋東	(年)	4,200	123,900	171,000	294,900	30	9,830	8,817,450	9,526,865	18,344,315
高橋北	(年)	3,000	135,000	320,000	455,000	6	10,111	6,438,750	11,380,614	17,819,364
空知	(年)	2,000	52,000	0	52,000	26	2,000	5,225,500	6,614,794	11,840,294
利根川	(年)	1,000	11,000	0	11,000	12	916	1,393,500	762,219	2,155,719
赤松	(年)	4,000	278,000	339,000	617,000	71	8,690	14,658,100	15,465,336	30,123,436
赤松亀田	(年)	2,000	61,000	164,815	225,815	30	7,527	4,271,250	7,715,510	12,016,760
森	(年)	2,000	66,000	0	66,000	32	2,062	3,868,600	310,500	4,179,100
七飯	(年)	3,000	42,000	200,000	242,000	14	17,285	3,806,600	7,588,600	11,335,200
長万部	(年)	2,000	18,000	0	18,000	9	2,000	1,890,450	17,300	1,907,750
空知セントラル	(年)	4,000	104,000	440,000	544,000	26	20,923	1,882,500	7,902,600	9,785,100
江差	(年)	2,500	25,000	0	25,000	10	2,500	2,241,095	73,000	2,314,095
空知石狩界	(年)	2,000	104,000	82,000	186,000	36	5,166	6,316,750	34,151,200	40,467,950
空知東	(年)	4,000	134,000	230,000	364,000	32	11,375	12,497,000	24,860,292	37,387,292
北斗	(年)	5,000	60,000	0	60,000	12	5,000	1,870,000	1,222,000	3,092,000
白老	(年)	4,000	112,000	100,000	212,000	30	7,733	3,362,500	1,816,426	5,178,926
苫小牧	(年)	4,000	232,000	0	232,000	61	3,803	11,517,650	4,416,000	15,933,650
苫小牧東	(年)	4,000	120,000	390,426	510,426	30	17,014	3,342,000	11,562,511	14,904,511
苫小牧北	(年)	4,000	110,000	206,000	316,000	28	11,285	7,335,750	20,944,891	28,280,641
2510その他		0	0	0	0	0	0	11,608,000	21,386,450	32,994,450
合計			8,084,800	18,829,994	26,914,794	2,331	11,531	456,136,295	886,008,674	1,342,144,969

順位	地区	名称	個人平均
1	2590	神奈川県(横浜市・川崎市)	30,406
2	2770	埼玉県南東	25,967
3	2660	大阪北部	25,685
4	2650	福井県・京都府・奈良県・滋賀県	23,223
5	2820	茨城県	22,760
6	2780	神奈川県(横浜市・川崎市以外)	20,865
7	2550	栃木県	18,450
8	2580	東京都・沖縄県	18,413
9	2840	群馬県	18,244
10	2750	東京都(北マリアナ諸島他)	17,939
11	2560	新潟県	17,316
12	2790	千葉県	16,571
13	2700	福岡県・長崎県・佐賀県	16,112
14	2680	兵庫県	15,913
15	2610	石川県・富山県	15,425
16	2760	愛知県	15,317
17	2640	大阪南部・和歌山県	14,495
18	2710	広島県・山口県	14,184
19	2690	岡山県・島根県・鳥取県	14,181
20	2670	愛媛県・香川県・高知県・徳島県	14,005
21	2620	静岡県・山梨県	13,959
22	2530	福島県	13,053
23	2600	長野県	12,821
24	2570	埼玉県西北	12,337
25	2740	長崎県・佐賀県	12,073
26	2510	北海道西部	11,531
27	2720	熊本県・大分県	11,055
28	2630	岐阜県・三重県	9,542
29	2800	山形県	9,442
30	2730	鹿児島県・宮崎県	9,238
31	2830	青森県	9,067
32	2540	秋田県	9,056
33	2520	岩手県・宮城県	7,677
34	2500	北海道東部	6,851
9990		その他	0
		総計	15,999

心からの感謝を込めて



Thank You



新入会員の皆様を心より歓迎します！



伊澤 信 会員

札幌はまなすRC
職業分類：建設業
入会日：2025年1月21日



藤井 眞樹 会員

札幌はまなすRC
職業分類：建築・土木資材
入会日：2025年1月21日



吉野 未希子 会員

札幌はまなすRC
職業分類：飲食業
入会日：2025年4月8日



高橋 伸和 会員

札幌はまなすRC
職業分類：電気工事
入会日：2025年4月8日



大島 一哉 会員

札幌手稲RC (再入会)
職業分類：塗装工事
入会日：2025年5月31日



伊藤 一成 会員

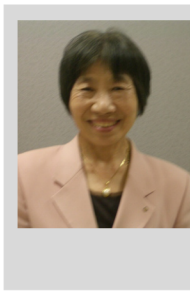
千歳RC
職業分類：不動産売買
入会日：2025年6月26日



伊藤 俊洋 会員

千歳RC
職業分類：建築設計監理
入会日：2025年6月26日

訃報 謹んでお悔やみ申し上げますとともに、心からご冥福をお祈りいたします



**渡辺 里代子 会員
(札幌手稲RC)**

逝去日 2025年4月18日 (88歳)
ロータリー歴 2003年12月19日 入会



菊地 芳彦 会員(苫小牧北RC)

逝去日 2025年6月28日 (84歳)
ロータリー歴 1986年5月27日 入会
1999-2000年 第31代 会長
2010-2011年 第42代 会長
その他多くの理事・委員長を務められました。
表彰歴 マルチプル・ポール・ハリス・フェロー(3)
第2回 米山功労者

米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

米山功労者

砂 川RC	近藤 俊継	会員 (2回)	5月30日	札幌モーニングRC	大西 正啓	会員 (2回)	6月27日
札幌清田RC	江口 洸	会員 (6回)	5月29日	札幌モーニングRC	露木 茂	会員 (4回)	6月27日
小 樽RC	伊藤 保夫	会員 (2回)	5月23日	札幌モーニングRC	佐藤 元治	会員 (8回)	6月27日
小 樽RC	秦 健一郎	会員 (3回)	5月23日	札幌幌南RC	羽部 大仁	会員 (19回)	6月26日
小 樽RC	坂田 道昭	会員 (3回)	5月23日	札幌幌南RC	長沢 祐純	会員 (2回)	6月26日
小 樽RC	松倉 弘	会員 (4回)	5月23日	札幌幌南RC	深貝 亨	会員 (3回)	6月26日
静 内RC	福原 啓介	会員 (1回)	5月30日	札幌真駒内RC	高野 園子	会員 (6回)	6月26日
室 蘭RC	中野 達雄	会員 (2回)	5月29日	静 内RC	福田 正和	会員 (1回)	6月3日
苫小牧北RC	矢部 繁	会員 (9回)	5月22日	室蘭北RC	川本 康裕	会員 (4回)	6月25日
札幌北RC	出村知佳子	会員 (18回)	6月12日	函館五稜郭RC	鹿野 文男	会員 (1回)	6月30日
札幌モーニングRC	小川 正人	会員 (1回)	6月27日	函館五稜郭RC	能戸 彰	会員 (5回)	6月30日
				函館五稜郭RC	石坂 仁	会員 (6回)	6月30日

米山功労クラブ

小 樽RC	17回	5月23日	函館五稜郭RC	34回	6月30日
札幌幌南RC	26回	6月26日			

ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

ベネファクター

恵庭RC 西村 英晃 会員 6月30日

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

Table listing names of Rotary members and their contribution dates, including names like 奥村 建夫, 深貝 亨, 大川 武志, etc.

ポール・ハリス・フェロー

Table listing names of Rotary members and their contribution dates, including names like 砂 川RC, 浦 河RC, 北 斗RC, etc.

2024-2025年度 メジャーギフト(大口寄付)

Table listing major gifts with names like 札幌北RC, 出村知佳子, 岩見沢RC, 江本 勝典.

2024-2025年度 ポール・ハリス・ソサエティご入会者

Table listing new members with names like 岩 内RC, 吉田 栄治, 函館セントラルRC, 浅野 翼.

【財団室ニュース8月号】

Rotary Foundation NEWS 2025年6月号. Includes text about the 40th anniversary of the Rotary Club and a QR code.

【ハイライト よねやま 303号】

ハイライト よねやま 303号. Includes text about the 40th anniversary of the Rotary Club and a QR code.

【コーディネーターニュース8月号】

Rotary NEWS 2025年8月号 No.1. Includes text about the Rotary Club and a QR code.

2026年台北国際大会

2026年6月13日－17日

<台北ドームにて開催>

2026年6月14日（日）開会式（午前・午後の2回）

2026年6月15日（月）全体会議（午前）

2026年6月16日（火）全体会議（午前）

2026年6月17日（水）閉会式（午後）



※登録はMY Rotary からお願い致します。



ROTARY INTERNATIONAL CONVENTION

TAIPEI, TAIWAN | 13-17 JUNE 2026



国際ロータリー
水野 功 理事

【2026年台北国際大会チーム構成】

2026年台北国際大会RI推進委員

日本チーム

出村知佳子 第2510地区札幌北RC

chikakodemura@gmail.com

第1地域 岡村睦美 第2770地区 川口RC

第2地域 吉川公章 第2760地区 名古屋南RC

第3地域 大橋秀典 第2660地区 東大阪東RC

「RI 理事主催親善朝食会」

2026年6月14日7:00AM

圓山大飯店 12階

宜しくお願いします！

● 地区内会員数報告 ●

ローターアクトクラブ含む
My Rotary クラブセントラルより (各7月1日実績)

2024年7月1日 会員数	2025年7月1日 会員数	期間増減
2,310	2,260	-50

会員数 純増達成グループ	第2 グループ	159 → 166 (+7)	ロータリークラブ	2272 → 2213 (-59)
	第7 グループ	190 → 191 (+1)	ローターアクト	38 → 47 (+9)
	第12グループ	137 → 139 (+2)		

2024-25地区大会記録誌&記録動画データ



2024-25地区大会記録誌&記録動画データがアップされました。1日目、2日目のダイジェスト映像が視聴でき、記録誌のダウンロードが可能です。

感謝を込めて 御挨拶

地区ラーニングファシリテーターより感謝を込めて

地区ラーニングファシリテーター 羽部 大仁 (札幌南RC)



2024-25年度、地区ラーニングファシリテーターとして活動する中で、特にガバナー補佐の皆様、そして各クラブの皆様には、研修の企画運営や学びの場づくりに多大なるご協力を賜り、心より感謝申し上げます。皆様の温かいお力添えがあってこそ、地区内に学びと対話の文化を広げることができました。ロータリーの魅力と可能性を次世代へと繋ぐべく、これからも、勇気を出して、共に行動し歩んでまいりましょう。「一年間、本当にありがとうございました。」

地区代表幹事より最終号 御礼

地区代表幹事 藤城 英明 (札幌北RC)



各クラブの皆様には、年度を通じて幹事職に温かいご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。特に地区大会では、各クラブの皆様のご協力により、クラブ紹介など多彩で魅力的な発表が実現し、大変印象深く、今も心に残っております。皆様の地域に根ざした活動や熱意に直接触れることができ、幹事として何よりの喜びでした。拙い点も多くあったかと存じますが、各クラブの皆様が常に温かく支えてくださったことに深く感謝いたします。各クラブの今後ますますのご活躍をお祈り申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

ガバナー月信担当より感謝を込めて

ガバナー月信担当 斉藤 昌一 (札幌北RC)



このたび、2024-25年度ガバナー月信の最終号を無事に発刊することができました。一年を通じて、地区ガバナーのメッセージをはじめ、クラブの活動や会員の声、各地での取り組みを紙面にまとめ、多くの方々にお届けしてまいりました。毎号の編集は「限られた紙面で、いかに伝えるか」という挑戦の連続でしたが、特に最終号では「勇気を出して行動する」という年度テーマに立ち返り、締めくくりにはふさわしい内容を目指しました。不十分な点もあったかと存じますが、クラブの皆様や関係者の温かいご支援のおかげでこまめ続けることができました。この場を借りて、心より感謝申し上げます。ご拝読いただき、誠にありがとうございました。